民報
あばしり
NO.1327
8月1日
発行所
日本共産党網走市委員会
網走市北八西三
TEL四三-四四五八
F四三-四四五七

振興局交渉で北海道へ要望　2021年7月21日

車止内川の維持管理など

日本共産党北見地区議員団は、7月21日、オホーツク総合振興局で、管内の議員が地元の要望を出し、北海道と交渉を行いました。

網走、北見、美幌、小清水、雄武の議員が参加しました。

村椿議員は、車止内川に立木が生えて大雨の際にあふれる危険があることから、毎年維持管理するよう求めています。北海道は今年度に下流の木は取り除くと回答しました。

また、長年にわたり大観山公園線の歩道設置を求めていますが、何故1kmほど無いのかと問いただしたところ、「当初は呼人側から約3kmの整備計画。その後、『はなてんと』が整備された時に歩行者を考慮し追加した経過がある」と、北海道から回答がありました。

村椿議員は「経過については理解できるが、歩行者の安全のために、引き続き対策をするよう求めていく」と話しています。

コロナ感染情報

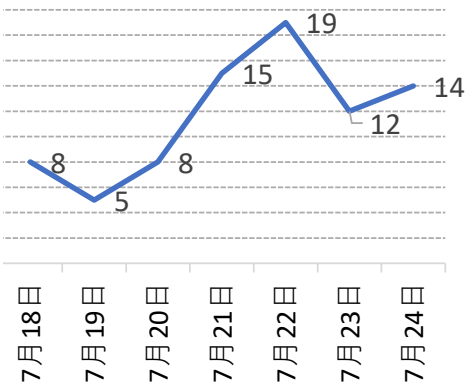
市内では、19日に飲食店で感染が確認され、クラスターは16人となりました。日体大高等支援学校に続いての感染拡大で、市民に不安が走っています。

26日の北海道のホームページによると、網走市の感染者は16人となっており、クラスターからさらに拡大はしていないと思われますが、安心はできません。

市は飲食店を始めとして、不安のある市民に対して、無料で抗原検査を行うとしています。心配な方は保健センター（43-8450）へ連絡してください。

また、市議会はコロナ対策特別委員会を27日に開き、情報の出し方の改善などを求める意見が出されました。皆さんのご要望を聞かせて下さい。お願いします。

オホーツクの感染者数
合計81人、（網走市16人
北見市63人、他2人）26日発表



松浦さとし奮戦メモ！

菅政権が発足した昨年9月に官房長官になってから今年3月末までに7億円を超える内閣官房機密費（報償費）を支出していたことが分かりました。

この内、6億6800万円（93%）が、長官が自由に使える領収書が不要の「政策推進費」であることが分かりました。「しんぶん赤旗」日刊紙によると情報公開資料で判明したとのことです。

お金の使い方の手法は、年度末の3月に多額の「政策推進費」を使う点など、安倍政権時の菅官房長官の手法と同じです。官房機密費は会計検査院にも出先を明らかにしない「使途秘匿金」です。

機密費には3種類ありますが、政策推進費は「官房長官に渡された」時点で、支出完了となります。つまり、何に使われているか分からない「使途秘匿費」なのです。「何とも恐ろしいお金の使い方でしょうか。」と言わなくてはなりません。

こんな政治はやめさせて、次の総選挙では野党連合政権を作りましょう。

村ちゃんが駆ける

何かをしなければならないと思う時に、そこに意義があれば、人はおのずと動き出すものだと私は思っています。

コロナの感染が拡大する中、オリンピックが始まってしまいました。テレビはオリンピック一色に染まって、コロナ感染はそっちのけのマスメディア報道に皆さんもイライラしているのではないでしょうか。

オリンピックの開会式を見ました。世界中の人々がコロナで命が奪われている時に、平和の祭典といっても「本当に開いて良いのか。意義はあるのか」と考えてしまいます。開会式後に記者から「意義は？」と問われ、「開催することに真の価値がある」と答える菅首相には呆れてしまいます。一握りの企業などの儲けのために続けるのはもうやめて、首相は、今からでも中止を決断して、「命を守るためにコロナ対策を」と国民に訴える時だと思います。

流氷

私には8年間お付き合いしているハシブトガラスの夫婦がいます。お父さんカラスの名前はわんわん。多分お父さん。私がわんわんと呼ぶとジェスチャー付きで、「わんわん わわん」と答えてくれます。今年は4羽の子どもが生まれ、木の枝にとまるのもバランスを崩すし、見た目もシャンとしていないので何かしてあげたくなります。口の中が赤いのも本能的に親鳥がなにか入れてあげたくなる色なのだそうです。最近は親が子の口に運ぶ回数が減ってきました。子どもたちの親離れも近いようです。カラスは嫌いな方も多いでしょうが、私にとっては美しく、賢く大好きな鳥です。縄張りがあるので大群で家に押し寄せることもありません。

▼生物全般が好きですが、あまりにも雨が降らないので蚊や蝿、その他の生物も少ないように感じます。農家の方々大変です。私にできる事はなんだろうと考え続けながら過ごしている中、真剣に雨乞いをしています。雨乞いかい！って言われそうですね。持続可能な開発目標（SDGS）というか、小さな事からやってゆきます。生きている全てのものが生き継いで行けますように。

「ウンババ、ウババ、ウンバババ。どうか、恵みの雨がふりますように」

直ちゃん